



発刊日 令6年3月1日  
 発行者 青森県立三戸高等学校  
 PTA広報委員会



次を見据えて  
 PTA会長 新井田康史

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。又、保護者の皆様には、お子様が無事にこの日を迎えられたこと心よりお祝い申し上げます。

ご卒業される皆様は、三戸高校で培ってきた三年間を胸に、明日から新たな生活へ進まれます。更なる勉学への道へ進学される方。社会人として就職される方。共に大いなる希望を持って頑張つて頂けると願っております。目標や夢に向かって自ら進む道であり、自



「幸せって何だっけ」  
 校長 豊川 武伸

「幸せって何だっけ」一九八六年に、『ボン酢しょうゆ』のテレビCMで明石家さんまさんが歌っていた曲です。「新人類」という言葉が流行し、ファミコンソフト「ドラゴンクエスト」が社会現象を巻き起こしたこの年は、バブル景気の始まりとされ、未来に希望を膨らませていた時期でした。

今、『ウェルビーイング』という概念が日本でも広がっています。私も研修や講演会で、このことについて何度かお話を聞きました。

由や、やりがいも大きなものとなることでしょう。それと同時に、思い通りにならない不自由さや、責任も大きくなり、楽しい事ばかりではなく、辛いことも多くあります。それでも、相談できる三戸高校で一緒に頑張ったクラスメイトや先生方、ご家族の方々がおります。新たな生活になってもお互いに寄り添える、助け合える関係を続けて頂けると幸いです。

在校生の皆様は進級され、新入生を迎える事となります。先輩方が築き上げてきた三戸高校の伝統を引き継げるよう、生徒一丸となつて頑張つて頂ければと思います。今年度は新型コロナウイルスの感染の落ち着きを受け、規制・制

した。ウェルビーイングとは、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念で、多面的な幸せを表す言葉です。欧米で普及し日本でも注目されるようになったのは、幸せな人は生産性や創造性などが高まることから、様々な調査で明らかになったからです。また、時代の移り変わりとともに、日本人はお金や地位よりも、幸せや健康などを求める傾向が強まったことも要因です。心の豊かさを重視するようになり、それがウェルビーイングの共感に繋がったのではないのでしょうか。

世界の幸福度調査によると、日本は中位から下位に位置していますが、伸びしろが大きいとも言えます。ウェルビーイングを高める

には、「たくさん感謝する」「前向きに挑戦する」「失敗や不安を引きずらない」「他人と比較しない」などが大事であり、三戸高校の生徒も、一人一人のウェルビーイングが尊重され、幸せを実感できるようなれればと思います。

保護者の皆様には、コロナ禍後の今年度、様々な取組にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。今後も皆様からのご支援のもと、教育活動の充実に努めていきたいと考えています。

三年生の保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。皆様のごこれまでのご苦勞に敬意を表しますとともに、生徒が幸せな人生を歩むことを願っています。

## 令和五年

## 各賞受賞者一覧

(1) 校長賞 和田 沙雪

(2) 青森県高等学校 PTA連合会会長賞 小野 雅登

(3) 産業教育振興中央会 会長賞 原 光汰

(4) 全国商業高等学校協会 会長賞 中村 瞳月

(5) 青森県産業教育振興会 会長賞 砂 日菜美

(6) 全国商業高等学校協会 三種目以上1級合格者表彰 4種目 原 光汰

(7) 皆勤賞 貝守 竜哉 佐藤 飛夏 原 光汰 齊藤 春香 村井 睦海

(8) 功労賞 ソフトテニス部 佐藤 飛夏 原 光汰 放 送局 一戸 正 貝守 竜哉 越後 萌絵 齊藤 春香 山本 七唯 商業部 小野 雅登 佐々木優衣 鹿川 りを



## 当たり前じゃない

三年主任 大崎 敬子

この三年間、学期ごとに発行してきた学年通信を読み返してみました。二年生の冬には、世界で戦争が始まった国があり、同世代の若者が巻き込まれているのですねと書いていました。また、三年生になり卒業間近になった今は、国内で大きな地震が発生し、通学はおるか受験の準備もできずにいる高校生がいる、という状況になっています。いつ何が起るかわからない時代に生きていくのだ、と生徒たちはよく言われてきたと思いますが、この三年間も、さまざまな場面ですそれを実感してきたようです。

また、コロナ禍の中で学生生活を送ってきた生徒たちですので、



## 今年を振り返って

進路指導主任 成田 雅典

この時期になると、今年の三年生の進路状況が明らかになっています。今が受験シーズンになった中で、現段階ではまだ進学希望者数人の進路が確定していませんが、就職希望者を中心にここまで順調にきています。

今年の三年生三十人のうち、就職の希望者は十二人いました。これが全員早い時期に、しかも第一希望通り内定をいただきました。その内訳は県内就職が五人、県外就職が五人、そして公務員が二人（三戸町と自衛隊）でした。人気があって難関の公務員に合格したのは非常に立派で、今年の三年生

経験できなかったことが多くあり、それが今後の人生にも影響する懸念があると思います。ですが「コロナのせいにしてはいけない」ということも、彼らは周囲からよく言われているようです。

印象的だったのは、二年時の冬の三者面談の頃、今まで希望していた職業について「自分が本当にやりたいことではない」と考え始め、変更しようとする人が何人もいたことです。三年時の夏以降も、いざ決定、という時に進路希望を大きく変更する人がいました。本気で自分の将来を考えている証拠だと思いましたが、「自分の本当にやりたいこと」が何なのかは、そう簡単にわかるものではないと話しました。今後もし「この会社（学校）に来てよかったのだからか」と思うことがあっても、ぜひすぐには辞めず、もう少し続けて

はよく頑張りました。三戸町の合格者は青森県の試験にも合格しており、地元三戸町を選択しました。ここ数年はコロナの影響なのか、県内就職の希望者が多かったのですが、今年は県外希望がだいぶ戻ってきた印象があります。

今年の三年生の特徴として、一人一人が努力をしたことはもちろんですが、粘り強く面接指導をしてくださった先生方や担任の大崎先生、さらには就職ガイダンスの吾妻先生など外部講師の方々の話もよく聞き、指導されたことを素直に取り入れたことが結果につながったのではないのでしょうか。

三年生の残り十八人は進学希望というのですが、こちらも優秀な結果を残しています。現段階で公立大学に三人が合格しており、

みるように、と伝えたいです。今現在も、進路決定のために受験勉強を続けている人がいます。最後まで皆で支え合い、自分の決めた道をしつかりと進んで行くことを願っています。

入学時から学年一クラス、また二コース制になって初めての学年でした。先生方もいくつもの役割を兼ねている方が増え、皆さんの要望に対応しきれないこともあったかも知れません。保護者の皆様には多大なご協力をいただきました。感謝申し上げます。

高校生活では、家族の協力があつたからこそ実現できたことがたくさんあつたのではないのでしょうか。卒業生たちは当たり前だと思うかもしれませんが、これからも身近な人を大切にして、生きてほしいと思います。ご卒業おめでとうございました。

さらに一人がこれから受験して合格を狙っています。その他にも私立大学に一人が合格し、さらにもう一人が受験の予定で、六人の大学希望者は目標に向けて順調に進んでいます。さらに専門学校志望の十二人も、ほとんどが希望通りに進路を確定させています。

今年の三年生は自分の興味・関心のあることをよく考え、担任と何度も話し合い、自分の進学・就職先を早い時期に選び、目標に向けて準備を重ねてきたように思えます。これだけですごい結果が出るほど簡単なものではありませんが、大きな理由の一つであることは確かでしょう。一・二年生のみならず、三年生の先輩方を参考にして、真剣に自分の進路を考え準備をしていきましょう。

# 今年度の進路合格先

1月31日現在

北海道とうぶつ・医療専門学校  
愛玩動物看護学科

## 民間就職

報恩八田  
株式会社カイセイ  
あべはんグループ  
八食市場寿司  
東京エアポートレストラン  
ニユートーキー  
太子食品工業  
社会福祉法人恵心会 鶴亀荘  
医療法人社団歯友会 赤羽歯科  
帝産観光バス 東京支店

## 専門学校・その他

八戸工科大学 総合設備科  
アレック情報ビジネス学院  
公務員科  
MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校  
デザインCGクリエイト科  
ビジネス情報ビジネス科  
仙台医療秘書福祉専門学校  
医療秘書科（二名）  
歯科アシスタント科  
東京多摩調理製菓専門学校  
調理師科 調理・製菓コース  
横浜スポーツ&医療ウェルネス専門学校 医療事務科  
宮城調理製菓専門学校  
パティシエ・ブーランジェ・シヨコパティエ科  
八戸理美容専門学校 理容科

## 公務員・自衛官

三戸町職員  
陸上自衛隊 一般曹候補生



# P T A 活動を振り返って

## 三年間を振り返り

三学年委員長 村井 潤一

今年度も無事に終えることができました。ひとえに保護者の方々、先生方、地域の皆様の多大なるご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。振り返れば高校生活の三年間をコロナ禍の中で過ごした生徒たちはとても辛く、悔しかった事と思います。その一方でこの限られた中で模索し前向きに進む子供たちや先生の姿をPTA役員として間近で拝見し、この三年間だったからこそ得られた学びがあったと感じています。娘に高校生活の一番の思い出は何かと訪ねたら友達と過ごした何気ない毎日だったと他愛もない話で盛り上がったと聞き決して大変な事だけではないと分かりました。自分としてはPTA役員として有意義な時間を過ごさせて頂きありがとうございました。

## 活動を振り返って

健全育成委員長 小川 千恵子

三年間、健全育成委員として、また今年度は委員長を務めさせて頂きました。

主な活動は、年二回のあいさつ運動です。最近、コロナ禍以前の生活に戻ってきて、子供達が元気に登校する姿を微笑ましく思いました。朝三十分くらいの活動ですが、子供達の学校での様子も見ることが出来ましたし、私にとっても良い経験になりました。このような活動を無事に終えることが出来ましたのは、先生方と保護者



の皆さまのお力添えのおかげです。本当にありがとうございます。これからも三戸高校の子供達の成長を見守りながら、ご協力のほどよろしくお願い致します。PTA活動に参加して、とても楽しかったです。ありがとうございます。



## 感謝の一年

研修委員長 菊地 ひとみ

今年度は、委員長を務めさせて頂きましたが、思うように活動に参加することが出来ませんでした。その為、副委員長さんを始め、御協力してくださった保護者の方々、先生方には感謝してもしきれないくらいです。ありがとうございました。

今年度の活動は、体育祭でのドーナツと飲み物の差し入れ、文化祭でのバザー、茶道の体験等を行いました。体育祭での差し入れは、好評で子供たちは嬉しかったみたいです。茶道の体験は、なかなか習う機会がないので、貴重な時間になりました。

来年度も、子供たちの笑顔の為の活動になればと思います。皆様の御協力、よろしくお願いいたします。



▲茶道の作法を学びました。

## 未来への架け橋

広報委員長 岡山 智美

広報委員として三年間、また今年度は委員長としても活動させて頂き、良い経験になりました。お忙しい中PTA活動へご協力頂

きました先生方、保護者の皆さまへ感謝申し上げます。ありがとうございました。

広報活動を通して、我が子の成長を見守る事と共に、三戸高校へ通う生徒の皆さんの頑張る姿、喜びの笑顔、真剣な表情を広報誌に少しでも残せた事を誇らしく思っております。

これからもPTA新聞「こだま」が保護者の皆様・先生方にとって生徒の皆さんとの架け橋になれるようにと、願っております。

本当にありがとうございました。



# 球技大会

三年一組 中村 瞳月

今年の球技大会では、二日間の開催となり種目が増えた球技大会となりました。一日目はフットサルとドッジボール、バスケットボール、キックベースで、二日目はバレーボールとバドミントンの競技をしました。

私は、フットサルとバレーボールに参加しました。フットサルで

は決勝で三年生のもう一つのチームと戦い負けてしまいました。楽しく試合することができました。また、総合優勝できて嬉しかったです。生徒も先生方も楽しそうに試合をしてくれたり、学年関係なく応援してくれていたのでも充実した球技大会となりました。協力してくれた先生方や生徒のおかげで二日間楽しく競技大会を開催することができました。ありがとうございました。



3年生総合優勝!

▶キックベース



▶バスケットボール



▶バレーボール



▶ドッジボール



▶バドミントン



▶フットサル



## スキー教室

2月2日金曜日、今年度もスキー教室が開催されました。暖冬の影響も心配されましたが、当日は雪質も良くコンディションに恵まれました。スキーをするのは初めてという生徒もいたようですが、インストラクターのお陰で午後には大分上達し満喫した様子でした。



## P T A 活動についての今後のお知らせ

今年度末から次年度始めのP T A活動について日程をお知らせします。ご都合つく方はご参集くださるようよろしくお願いいたします。また、それぞれ日程が近くなりましたら、詳細等改めてご案内いたしますのでよろしくお願いいたします。

令和6年3月22日(金)【予定】臨時のP T A役員会

令和6年4月10日(水)【予定】専門委員会

令和6年4月12日(金)【予定】P T A・後援会・白陵会監査・役員会